

令和元年度親睦旅行会のご報告

親睦担当副幹事長 高垣 泰志

本年度の旅行会は、昨年の西日本豪雨災害で中止になった旅行会のリベンジと復興支援を目的とし、再び岡山県の鷺羽山を目指すことになりました。

7月13日（土）曇天下、集合時間午前8時40分という早い時間にもかかわらず、一人の遅刻者も出ることなく、バスは予定通り午前8時45分に大阪・梅田を出発しました。



まず向かった先は、「ひまわりの丘公園（兵庫県・小野市）」です。1週間前に公園のHPを確認したところ、ほとんど咲いていない状態でした。しかし、旅行会の日が近づくにつれ、HPでも開花情報が頻繁に更新されるようになり、前日には開花率50%となっていました。バスが公園に近づくと、遠くからでも黄色い花が咲いているのが確認できました。公園に到着すると、少し雨がぱらついていましたが、全員がバスを降り、一面に咲き誇るひまわりを鑑賞しました。





次に向かった先は、「レストラン銀波荘（兵庫県・赤穂市）」です。初日の昼食として、海鮮炙り焼きを堪能しました。味・ボリューム共に満足していただけただけのように思います。



初日、最後の立ち寄り処は、「備前おさふね刀剣の里（岡山県・瀬戸内市）」です。様々な時代の日本刀が数多く展示されており、見応え十分です。敷地内には刀匠と呼ばれる職人の作業場が併設されており、実際に職人の方が一部工程を実演されていました。



その後、バスは宿泊先である「WASHU BLUE RESORT 風籠（かさご）」に向かいました。初日の観光をされない会員や東京の各会派の先生方はホテルで合流です。参加者は合計79名（西弁会員：36名、日本弁理士クラブ：28名、弁理士連合クラブ：15名）でした。ホテル到着後、受付を済ませた先生方から適宜入浴していただき、宴会の時間を迎えました。

宴会は、小谷昌崇幹事長の挨拶から、ご来賓の先生方（日本弁理士会会長の清水善廣先生、日本弁理士クラブ幹事長の福田伸一先生、弁理士連合クラブ幹事長の塩野谷英城先生）によるご挨拶へと続き、日本弁理士会関西会会長の吉竹英俊先生による乾杯ではじまりました。途中、サプライズ企画として、トラベルボックス様ご提供によるショータイム「鬼面太鼓」があり、宴会を盛り上げていただきました。宴会後の二次会は和室宴会場に移動してカラオケで盛り上がり、三次会は洋室宴会場に移動してラーメンを堪能しました。







7月14日（日）は、ゴルフ組と観光組とに分かれてのレクリエーションでした。
 ゴルフ組は、8組29名のコンペとなりました。石川遼プロがアマチュア時代に国内ツアー史上最年少で優勝された「東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ」でプレーをお楽しみ頂きました。



観光組は、「倉敷美観地区」を散策して頂いた後、「後樂園」で昼食を摂り、園内散策を楽しんで頂きました。



危ぶまれた天気も大きく崩れることはなく、楽しい二日間を過ごせました。一泊二日で昼夜を共にすることで、西日本弁理士クラブのベテラン・中堅・若手、そして、他会派の先生方との間で大いに交流が深まったものと思います。

以上

【写真提供（敬称略）：村上太郎，村上辰一，熊野剛，山本英明】